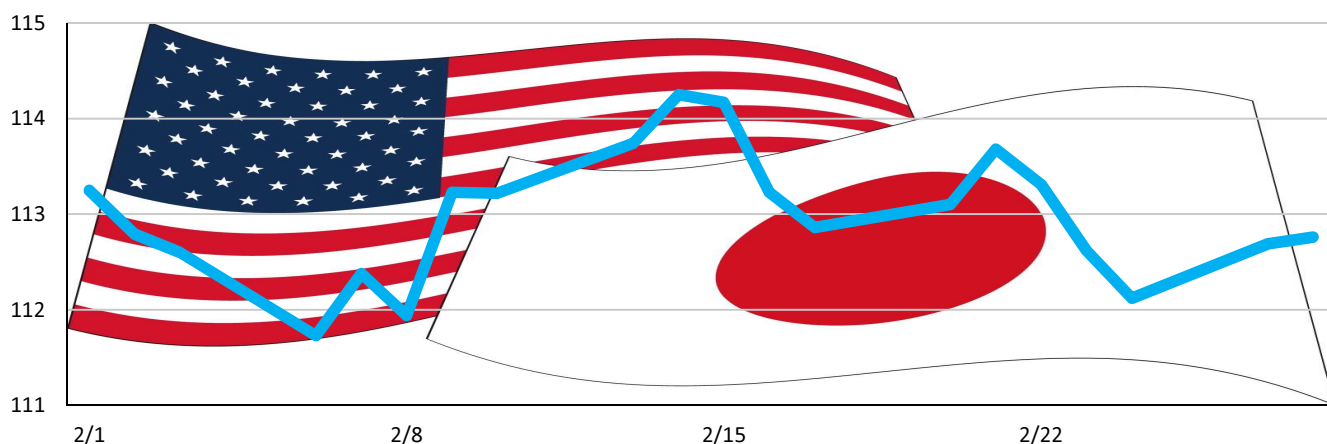


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 2月のドル円相場は、114円後半～111円半ばで推移。フランス大統領選に対する懸念やギリシャ問題再燃など一時リスク回避の動きが散見されたが、日米首脳会談を控えていたこともあり結果的にはレンジ相場となった。その後イベントリスクを消化したことにより動意づいてきた。トランプ大統領をはじめとしたドル高けん制発言によりドル売り圧力が強まる場面もあったが、各連銀総裁などから利上げを示唆する発言等もあり一転ドル高となるなど、要人の発言に振り回される展開となった。月末にかけては日本国内勢による3月決算に伴う円転や日本国内輸出企業による為替予約等により円買い圧力が強まっていたが、トランプ大統領の議会演説を好感したことや米国早期利上げ観測も相まってドル高の流れとなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 昨年12月や今年1月に比べると変動幅はややおとなしめとなったドル円相場。相変わらずトランプ大統領に振り回されているようだ。そもそも強いアメリカを目的としていることから市場はドル高に反応していくのだが、ところどころでドル安に反応する発言等があるため、なかなか方向性が見出せないでいる。しかし、米国経済が好調という背景もあり米国早期利上げ期待感の高まりから、結果的にドル高の流れに戻るようになってきている。イエレンFRB議長も公演で利上げ期待を追認していることもありドル高基調は変わらない。ただ、噂で買って事実で売るということも考えられるため、見極めが重要となってくるだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 23 (木)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
3 / 30 (木)	21 : 30	US	米GDP確報値	☆☆☆☆
4 / 3 (月)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
4 / 5 (水)	21 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
4 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 14 (金)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
4 / 14 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆